

Table 1 PALSAR-3 標準プロダクトの周知事項（更新日：2025/8/7）

No.	タイトル	事象概要	処置状況	対象観測モード／条件
1	プロダクト作成不可	注文したプロダクトの作成が完了せず、提供されない。（AUIG4 のプロダクト提供要求履歴でステータスが更新されない）	処置検討中	すべて
2	偽像ノイズの発生	一部の画像において、偽像ノイズが強く多重に発生する。PRF 可変観測モード設定時のみ発生する。詳細は以下の EORC ALOS-4 校正検証 Web サイトを参照。 https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/jp/alos-4/pdf/ALOS4ProductNotes_VPRF_Ja.pdf	処置検討中	高分解能、広域観測
3	電離層補正モード（オンボード）の運用不可	初期校正検証運用中の調整の際に発生した制約により、電離層補正モード（オンボード）が運用できない。	処置検討中	高分解能／電離層補正（オンボード）
4	衛星進行方向の線状ノイズ	一部の画像において、衛星進行方向の線状のノイズが見られる。PRF 固定観測モードでは発生しない。※後頁 Fig.1 参照。	処置検討中	高分解能、広域観測
5	広域観測モード画像のムラ	広域観測モードのサブスワス画像間および衛星進行方向に画像のムラが見られる。	処置検討中	広域観測
6	PRF 固定観測モード設定時の画像異常（フルポリメトリ）	PRF 固定観測モードのフルポリメトリの画像において、白色・黒色の画像やプロダクト作成不可になるシーンが発生する場合がある。※後頁 Fig.2 参照。	処置検討中	高分解能、広域観測／PRF 固定観測
7	フルポリメトリ観測時のクロス偏波画像（HV、VH）のノイズ	一部のシーンにおいて、フルポリメトリ観測時の HV および VH 画像において、ノイズが含まれた画像が生成される。	処置検討中	高分解能／PRF 固定観測
8	スポットライトモード画像に生じている偽像ノイズ	一部のスポットライトモードの画像において、偽像ノイズが発生する。	処置検討中	スポットライト
9	シーン矩形の描画異常	L2.1 で注文・処理し、処理完了後に AUIG4 でカタログ検索すると、地図上に描画されるシーン矩形が平行四辺形ではなく、三角形に近い台形に崩れてしまう場合がある。処理パラメータがジオリファレンス設定のときのみ発生し、ジオコード設定時には発生しない。	処置検討中	高分解能
10	シーン幅の異常	一部の PRF 固定観測モードの画像において、ニア側またはファー側のサブビームのシーン幅が広がってしまうことがある。※後頁 Fig.3 参照。	処置検討中	高分解能／PRF 固定観測
11	シーン幅が狭くなってしまう	PRF 固定観測において、観測不可領域（ブラインド）がレンジ端に発生した場合、当該サブビームのシーン幅が狭くなる場合がある。再生されていない画像範囲はブラインド領域であり、格納データは正常である。※後頁 Fig.4 参照。	処置検討中	PRF 固定観測

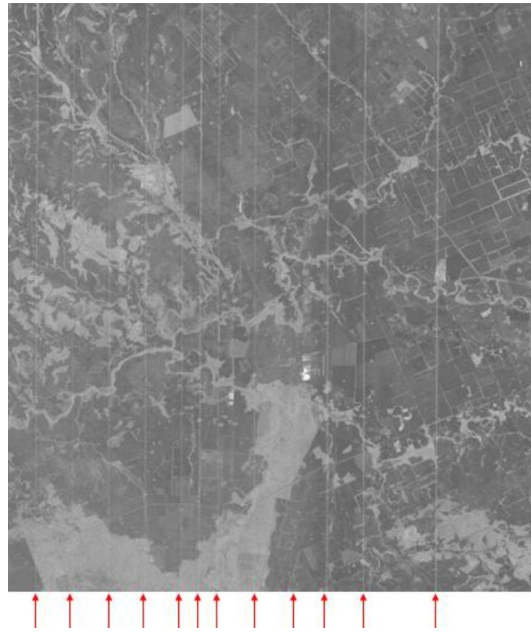
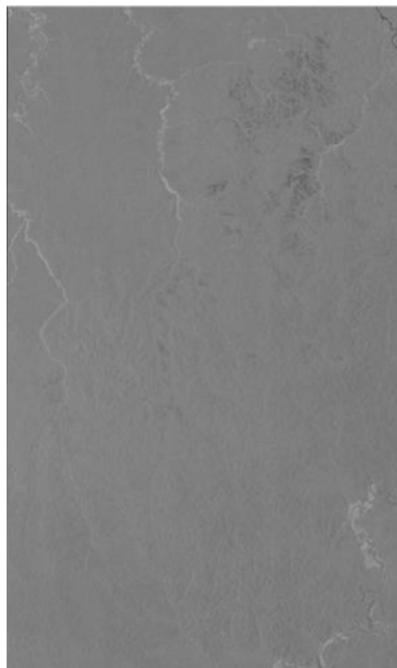


Fig. 1 線状ノイズの例 (赤矢印に沿って線状にノイズが見られる)

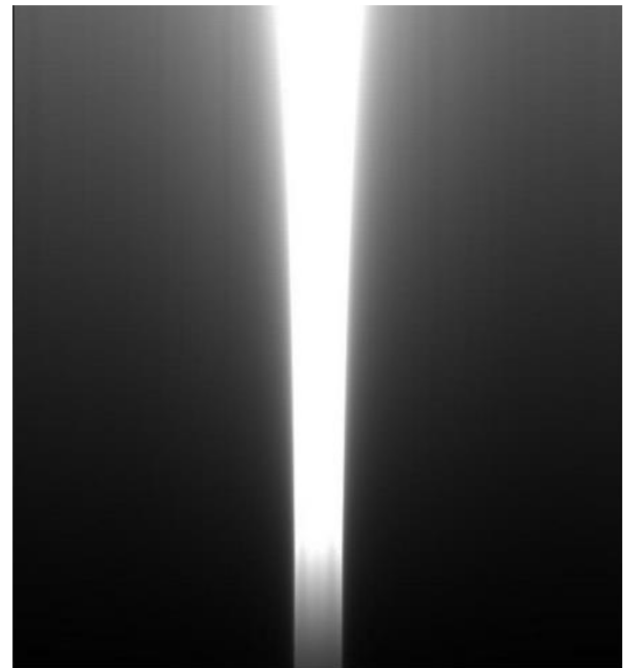
高分解能6mモード
100km幅
ビーム8(HBQ08)

衛星進行方向
(アジマス)

電波照射方向
(レンジ)



(a)正常に再生された場合



(b)異常に再生された場合

Fig. 2 画像再生異常の例

高分解能3mモード
200km幅
ビーム1(UWD01)
北海道千島列島南部

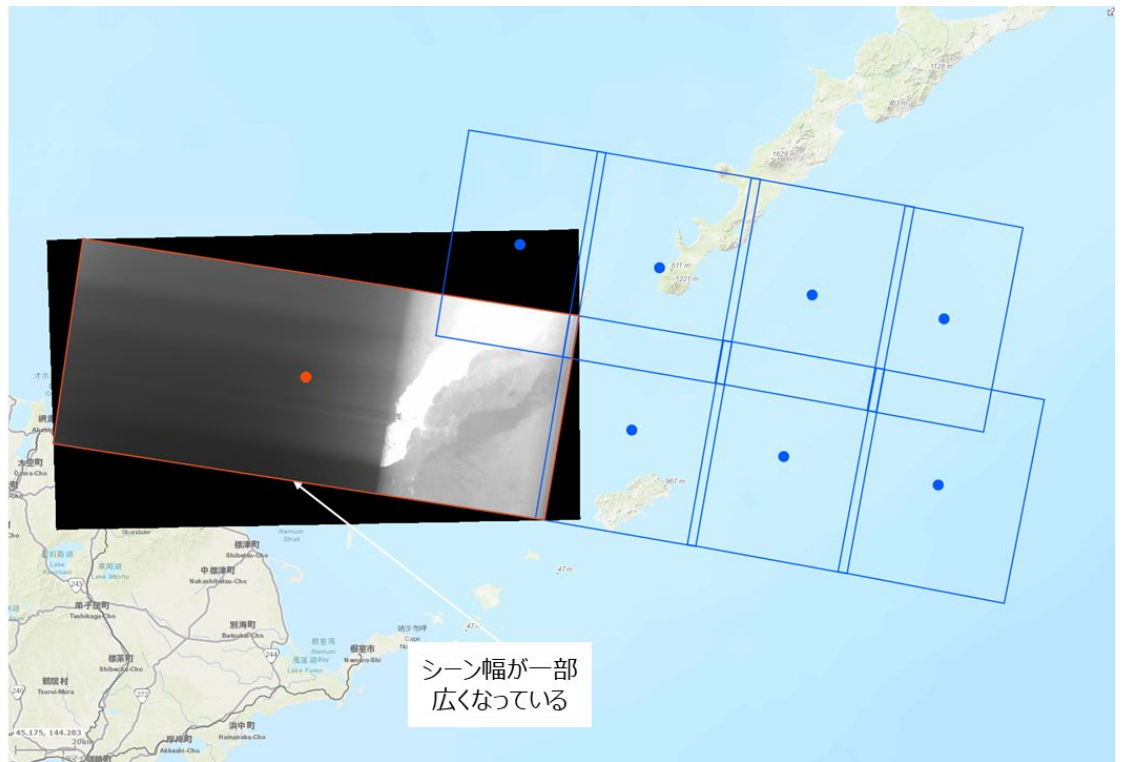


Fig. 3 シーン幅異常の例

高分解能3mモード
200km幅
ビーム1(UWD01)
北海道千島列島南部

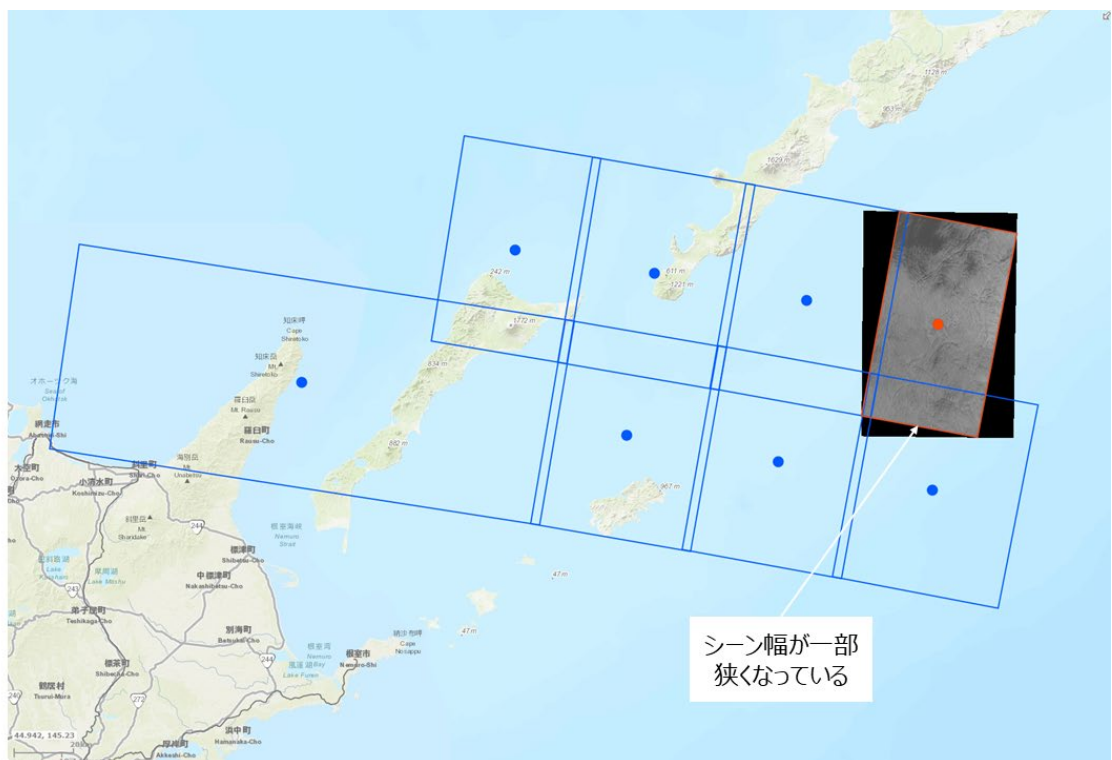


Fig. 4 シーン幅が狭くなってしまう例